

花粉交配用ミツバチの取扱注意事項

ミツバチを正しく扱い、消耗を防ぎ、長持ちさせましょう

1：導入時期

ハウス内に入れても1週間ぐらいは飛び回るだけで、花に止まらないことがありますので、開花1週間前までに設置するようにして下さい。

2：設置場所

ミツバチは巣箱の位置を覚えて方角を認知します。1度巣箱を据えつけたら、みだりに場所を変えないで下さい。迷って巣箱に帰れなくなります。

3：設置時間と巣門の解放

配達されたらすぐの早朝か、日没後にハウスへ持ち込んで下さい。静かに設置し、巣門を開けたら離れ、蜂が落ちつくまで近づかないで下さい。

4：箱の金網窓

輸送時の通気用です。ハウス内に設置したら、後ろ窓を閉じて下さい。

5：ミツバチの訪花

暖かい時間帯に50m程度の小型ハウスで2～3匹、大型でも数匹が訪花行動をしていれば充分です。逆に、働く蜂が多すぎると果実に障害がでる過訪花現象がおこることもあります。

6：適温

ハウス内の温度は16～25℃が適温です。30℃以上になるとミツバチは遠くに飛びたがり、ハウスの天井にぶつかって死んでしまいます。

7：農薬

ミツバチ導入後、基本的に殺虫剤は使えません。万一必要な場合、使用する農薬の説明書をよくお読みいただき、記載の期間は巣箱をハウス外に出し、巣門を開放して下さい。温度が上がるハウス内で巣門を閉めた状態でおくことは厳禁です。